

# 長期戦略:テーマ 「新規事業財源の確保」

提出日

2022年8月24日

担当部署

## II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	小野宏部長 (総合企画部)	実施計画の 担当部署	総務部(校友課)、 総合企画部
-----------------------	------------------	---------------	--------------------

### 1. 実施計画

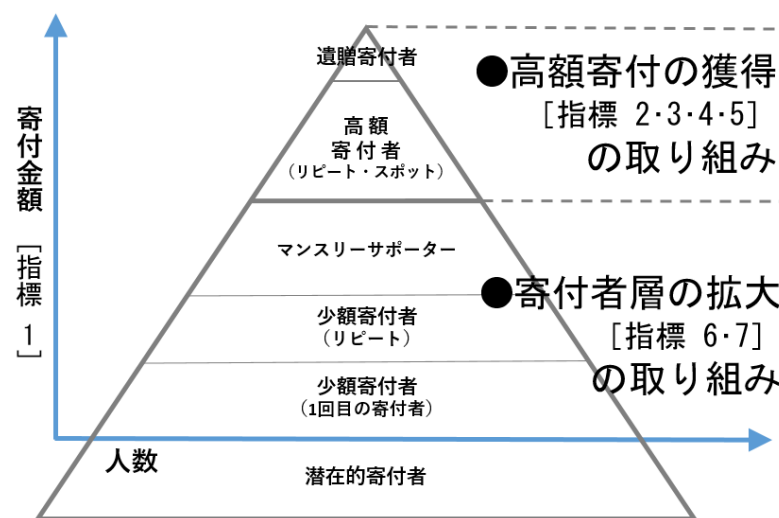
実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
8-(4)-② 寄付募集の体制構築と推進	2020年度	2022年度	必要なし	不要

#### 内容

財務・業務改革本部での検討の結果、収入増の学費改定以外の方策として、寄付金収入の増加を優先度の高い取組として推進する方向性が示された。寄付募集は、単なる資金集めではなく、学院に関係する多様なステークホルダーズとのコミュニケーションとして捉えるべきである。寄付者像を明確にした上で、中長期的戦略を立案し、本学の教育・研究活動の成果や価値を広く社会に発信し、その取組状況等について如何に共感を得ることができるかが大切であり、そのことは継続的で安定的な寄付者ネットワークの構築にもつながる。

本計画では、すでに募金推進委員会において策定されている寄付募集計画の推進と同計画のPDCAを担う専業での人員配置について検討した上で、寄付募集をさらに推進していくための戦略的体制を構築する。

#### ●ドナーピラミッド(ドナー獲得の概念図)と寄付募集計画推進のイメージ



進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式
指標1	寄付総額	<p>●年度内の寄付総額及び新たな寄付募集による寄付合計額</p> <p>新たな寄付募集(積極的に働きかける募金、広く呼びかける募金、その他の新たな制度[遺贈受入、維持会員、古本募金])により寄付総額の増加と、持続的かつ発展的な寄付を獲得するための寄付者層の拡大を図る。</p>
指標2	学外協力者数 (高額寄付の獲得)	<p>●寄付募集事業を推進するための学外協力者数</p> <p>学外協力者とは、高額寄付の獲得を推進するために配置するものを指す。 学外協力者については、地域の特殊性を考慮して、各エリア(関西圏、首都圏、東海・北陸、中四国、九州等)に置く。</p>
指標3	プレミアムサポーター数 (高額寄付の獲得)	<p>●プレミアムサポーターの会員数</p> <p>毎年50万円以上を寄付して下さる方をプレミアムサポーターとした寄付会員制度を構築し、高額寄付者層の囲い込みを図る。 プレミアムサポーターの募集は、募金専任担当者が学外協力者と連携して推進する。</p>
指標4	高額寄付者による寄付総額 (高額寄付の獲得)	<p>●高額寄付者(100万円以上/年間の高額寄付者)による寄付総額</p> <p>募金専任担当者と学外協力者が連携し、高額寄付の獲得を推進する。</p>
指標5	遺贈受入 (高額寄付の獲得)	<p>●遺贈受入相談件数、遺贈受入件数、遺贈受入総額</p> <p>募金専任担当者による高額寄付者とのリレーション強化及び遺贈相談受付体制構築により、遺贈受入の増加を図る。 ※遺贈受入相談件数は、高額寄付者とのリレーション強化により発生した相談及び遺贈相談受付窓口における相談を対象とする。</p>
指標6	Kwansei Grand Challenge 2039 募金への寄付件数・総額 (寄付者層の拡大)	<p>●「Kwansei Grand Challenge 2039 募金」への寄付件数・総額</p> <p>Kwansei Grand Challenge 2039における事業に対し、寄付者が用途を選択できる仕組みの構築と、寄付者銘板を導入し、寄付者層の拡大及び「Kwansei Grand Challenge 2039 募金」への寄付総額の増加を図る。</p>
指標7	関西学院サポーター数・寄付 総額 (寄付者層の拡大)	<p>●関西学院サポーター数・寄付総額</p> <p>少額でも毎年寄付して下さる方を関西学院サポーターとした寄付会員制度を構築し、寄付者層の拡大及び寄付総額の増加を図る。</p>

## 目標1&lt;指標1&gt; 寄付総額(年度内の寄付総額・新たな寄付募集による寄付合計額)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	非公開				
実績					

## 目標2&lt;指標2&gt; 学外協力者数 [高額寄付の獲得]

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	非公開				
実績					

## 目標3&lt;指標3&gt; プレミアムサポーター数 [高額寄付の獲得]

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	非公開				
実績					

## 目標4&lt;指標4&gt; 高額寄付者による寄付総額 [高額寄付の獲得]

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	非公開				
実績					

## 目標5&lt;指標5&gt; 遺贈受入(遺贈受入相談件数、遺贈受入件数、遺贈受入総額) [高額寄付の獲得]

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	非公開				
実績					

## 目標6&lt;指標6&gt; Kwansei Grand Challenge 2039 募金への寄付件数・総額 [寄付者層の拡大]

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	非公開				
実績					

## 目標7&lt;指標7&gt; 関西学院サポーター数・寄付総額 [寄付者層の拡大]

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	非公開				
実績					

## 2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
高額寄付の獲得	策定段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状分析と方策立案</li> <li>・募金担当理事の選任</li> <li>・実施体制検討と構築</li> <li>・学外協力者制度構築と運用開始</li> <li>・謝意の検討と運用開始</li> <li>・プレミアムサポーター制度構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募金専任担当者配置による体制強化</li> <li>・高額寄付者への訪問活動開始</li> <li>・学外協力者増による体制強化</li> <li>・プレミアムサポーター募集開始</li> <li>・謝意の検討結果に基づく募金推進</li> <li>・遺贈受付体制の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高額寄付者への訪問活動</li> <li>・学外協力者増による体制強化</li> <li>・プレミアムサポーター募集推進</li> <li>・謝意の検討結果に基づく募金推進</li> <li>・実施体制の再検討</li> <li>・遺贈相談受付体制の構築</li> <li>・遺贈相談受付業務開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高額寄付者への訪問活動開始</li> <li>・高額寄付者への遺贈提案開始</li> <li>・学外協力者増による体制強化</li> <li>・プレミアムサポーター募集推進</li> <li>・謝意の検討結果に基づく募金推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年度以降の募金推進計画策定</li> <li>・高額寄付者への訪問活動</li> <li>・高額寄付者への遺贈提案</li> <li>・学外協力者増による体制強化</li> <li>・プレミアムサポーター募集推進</li> <li>・謝意の検討結果に基づく募金推進</li> </ul>
	2023年3月末段階	—	—	—	—	・募金専任担当者増による体制強化
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	・2023年度の検討結果を踏まえて策定	・2023年度の検討結果を踏まえて策定	・2023年度の検討結果を踏まえて策定	・2023年度の検討結果を踏まえて策定	・2023年度の検討結果を踏まえて策定
	2023年3月末段階	—	—	—	—	—
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
寄付者層の拡大	策定段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KGC2039募金推進開始(母校通信同封・HP・同窓会支部総会・ホームカミングデー招待者への案内)</li> <li>・寄付方法の拡充(クレジットカード決済)</li> <li>・謝意の検討と運用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状分析によるKGC2039募金新メニュー検討</li> <li>・KGC2039募金推進(母校通信同封・HP・同窓会支部総会・ホームカミングデー招待者への案内、DM送付)</li> <li>・維持会員制度構築及び募集開始</li> <li>・謝意の再検討と運用開始</li> <li>・謝意の検討結果に基づく募金開始</li> <li>・維持会員(仮称マンスリーサポーター)募集体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KGC2039募金新メニュー開始</li> <li>・KGC2039募金推進(母校通信同封・HP・同窓会支部総会・ホームカミングデー招待者への案内)</li> <li>・関西学院サポーターの募集推進</li> <li>・関西学院サポーターの新募集体制による募集開始</li> <li>・謝意の検討結果に基づく募金推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KGC2039募金推進(母校通信同封・HP・同窓会支部総会・ホームカミングデー招待者への案内)</li> <li>・関西学院サポーターの募集推進</li> <li>・謝意の検討結果に基づく募金推進</li> <li>・ふるさと納税制度を利用した支援金募集の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年度以降の募金推進計画策定</li> <li>・KGC2039募金推進(母校通信同封・HP・同窓会支部総会・ホームカミングデー招待者への案内)</li> <li>・関西学院サポーターの募集推進</li> <li>・謝意の検討結果に基づく募金推進</li> </ul>
	2023年3月末段階	—	—	—	—	・募金専任担当者増による体制強化
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	・2023年度の検討結果を踏まえて策定	・2023年度の検討結果を踏まえて策定	・2023年度の検討結果を踏まえて策定	・2023年度の検討結果を踏まえて策定	・2023年度の検討結果を踏まえて策定
	2023年3月末段階	—	—	—	—	—

## 3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】							
非公開							
経費 単位:万円	2019・2020 年度 承認	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	2025年度	4 年目以降
非公開							
人員・人件費 単位:万円	2019・2020 年度 承認	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度 承認	2024年度	2025年度	4 年目以降
非公開							

## 4. 進捗状況・得られた成果

2019年度	<p>「高額寄付の獲得」に関する取り組みは、計画どおり募金担当理事の選任、学外協力者制度の構築及び設置（2名）することができた。また、2020年度に計画していたプレミアムサポーター制度を一年度前倒して構築した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により学外協力者による寄付依頼訪問活動の休止及び高額寄付者とのリレーション強化を目的とした感謝の会が延期となった。</p> <p>「寄付者層の拡大」に関する取り組みは、2019年3月に新設したKGC2039募金について、主な対象となる同窓生に対し、母校通信や同窓会関連行事において広く呼びかけた。また、クレジットカード決済を可能とするなど寄付方法の拡充を図った。</p>
2020年度	<p>「高額寄付の獲得」に関する取り組みは、募金専任担当者と学外協力者が連携し、寄付依頼訪問活動を中心に推進していく予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、寄付依頼活動を休止することとなった。また、高額寄付者とのリレーション強化を目的とした感謝の会は2019年度に引き続き延期となった。さらには、2019年度開催分については、2020年8月に延期することとしたが、コロナ禍により開催を断念した。その一方で、コロナ禍により先行き不安な状況が起因した遺贈の相談があり、遺言公正証書作成に結びついた。</p> <p>「寄付者層の拡大」に関する取り組みは、主な対象を同窓生としているKGC2039募金と関西学院サポーター（寄付会員制度）を柱に推進していくこととしており、計画どおり関西学院サポーター（寄付会員制度）を構築した。しかしながら、関西学院サポーターについては、母校に関心度の高い方々を対象としており、同窓会の会合（総会）にて寄付を依頼する予定であったため、コロナ禍で会合が開催されないことから寄付依頼を断念した。とはいえ、次年度以降の目標値に向け、関西学院サポーター募集体制構築計画を前倒して着手し、2021年1月に関西学院同窓会と連携し寄付を募集する体制を構築した。</p>
2021年度	<p>「高額寄付の獲得」に関する取り組みは、募金専任担当者と学外協力者が連携し、寄付依頼訪問活動を中心に推進していく予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年度に引き続いて寄付依頼活動を休止することとなった。高額寄付者とのリレーション強化を目的とした感謝の会については、2020年度分は2022年7月に再々延期、2021年度分は2022年5月に延期となった。また、遺贈に関するお問い合わせが増えていることから、2022年度に予定していた遺贈相談受付体制の構築を前倒して着手し、82名の同窓生弁護士と遺贈相談に関する協定を締結した。</p> <p>「寄付者層の拡大」に関する取り組みは、主な対象を同窓生としているKGC2039募金と関西学院サポーター（寄付会員制度）を柱に推進していくこととしている。関西学院サポーターの募集については、母校に関心度の高い方々を対象としており、同窓会の会合（総会）にて寄付を依頼する予定であったが、コロナ禍で会合が開催されず、昨年度に引き続いて会合での寄付依頼はできなかった。しかしながら、同窓会本部及び各支部と連携し、21支部の会員へ郵送にてパンフレットを送付することができた。</p>
2022年度	
2023年度	
2024年度	



## 5. 今後の課題及び方向性

2019 年度	本実施計画では、寄付募集総額を増加させるための高額寄付の獲得と、持続的かつ発展的な寄付獲得を実現するための寄付者層の拡大に重点を置いて取り組むこととしているため、募金担当理事の選任(配置)、計画のPDCAを担う募金専任担当者や業務を委託する学外協力者の配置が不可欠である。また、高額寄付の獲得には、本学を支援したいという参画意識を醸成することが必要で、寄付に至るまでの時間と労力を費やすこととなるため、高額寄付の獲得に係る活動の進捗に併せて、段階的に人員体制と費用面での措置が必要となる。
2020 年度	今年度の現状としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学外協力者による寄付依頼訪問活動の休止及び保証人を対象とした寄付依頼を見送っている。また、高額寄付者へのリレーション強化を目的とした御礼訪問なども自粛せざるを得ない状況が続いている。一方で、遺贈の相談があり、いずれも遺言公正証書作成に結びついた。これらを踏まえ、今後の方向性としては、実施計画どおり活動できない可能性があるものの、活動休止等により稼働が確保できるため、維持会員(仮称マンスリーサポーター)募集体制の構築や遺贈受付体制の検討など前倒しで着手したいと考えている。また、2021年度は、これらの計画前倒しにより、今年度動けなかったことに加え、期首より維持会員(仮称マンスリーサポーター)の新体制による募集及び遺贈受付体制の整備が開始できることとなるため、2022年度に計画していた募金専任担当者増による体制強化の前倒しが必要である。
2021 年度	今年度の現状としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年度に引き続いて学外協力者による寄付依頼訪問活動の休止及び5月以降の保証人を対象とした寄付依頼を見送っている。また、高額寄付者へのリレーション強化を目的とした感謝の会(2020年度開催分)も8月に延期としていたが再延期することとなった。一方で、昨年度はコロナ禍が起因した遺贈相談があり、遺言公正証書作成に結びつくなど、これまでにない動きが見え始めている。これらを踏まえ、計画策定段階では2022年度に予定していた遺贈相談受付体制の構築に着手する。遺贈相談受付体制については、学院と協定を締結した同窓生弁護士・司法書士等が相談窓口となり、学院と連携しながら遺贈受入を推進していくもので、将来的には全国展開したいと考えているが、受付体制発足時は関西圏の同窓生弁護士を中心に始めていきたいと考えている。
2022 年度	今年度の現状としては、大学が対面授業となったため、3年振りに大学の保証人に対し寄付を依頼することができた。また、高額寄付者へのリレーション強化を目的とした感謝の会についても、再々延期となっていた2020年度分を7月に、延期となっていた2021年度分を5月に開催することができた。さらには、ごく僅かではあるが同窓会の会合(支部総会など)が開催されていることから、会合にて関西学院サポーターの依頼をはじめている。これらのように、少しずつではあるが実施計画策定時に想定していた寄付募集活動が実行でき始めていることから、今年度は計画を着実に実行していきたいと考えている。さらには、寄付募集とは若干異なるが、ふるさと納税制度を利用した支援金募集の検討を進めるなど、新規事業財源の獲得に資する施策を検討していく。
2023 年度	
2024 年度	

## 6. 学院総合企画会議の基本方針

2019年度	・学外協力者2名の報酬料金・関連経費、交通費(募金専任担当理事・担当者)、謝意に関わる費用を認めます。 ・また、寄付募集体制を確固たるものとするために、事務職員1名を配置する方向とし、人事部にて対応します。
2020年度	学外協力者2名の報酬料金・関連経費、交通費(募金専任担当理事・担当者)、謝意に関わる費用、KG サポーター募集に係る業務委託料を認めます。 寄付募集体制を確固たるものとするために、昨年配置した専任職員1名を継続配置します。また、専任職員1名の増員については、配置する方向とし、人事部にて対応します。
2021年度	学外協力者の報酬料金・関連経費、交通費(募金専任担当理事・担当者)、謝意に係る費用、KG サポーター募集に係る業務委託料を認めます。 寄付募集体制の確立のために、配置済みの専任職員1名の継続を認めます。加えて、専任職員1名の増員については、配置する方向として、人事部にて対応します。
2022年度	学外協力者の報酬料金・関連経費、交通費(募金専任担当理事・担当者)、謝意に係る費用、KG サポーター募集に係る業務委託料を認めます。 専任職員1名の継続配置を認めます。
2023年度	
2024年度	

## 7. Total Review の結果

## 【フェーズⅠ(2019～2021)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズⅡに向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな寄付募集の仕組みとその体制構築は当初の予定以上に早く進んでいる。ただし、遺贈相談の増加により体制拡充が急務である。</li> <li>・コロナにより、同窓会全体としての活動が停止したため、プレミアム／マンスリーサポーター募集体制などに前倒しで取り組んでいる。一方、寄付総額等の目標は未達となる可能性が高い。</li> </ul>	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同左</li> </ul>

## 【フェーズⅡ(2022～2024)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズⅡに向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃止</li> </ul>	



